

「これからの主なイベント・大会予定」

令和4年

- 11月 青森県武道館トップアスリート交流事業「柔道教室」(3日～6日)
青森県高校新人バドミントン大会(19日～21日)
第12回青森県武道館小学生・中学生相撲大会(20日)
第3回U15選手権バスケットボール大会青森県予選会(26日～27日)
- 12月 2022-23シーズン B2リーグ青森ワッツホームゲーム(vsバンビシャス奈良)(3日～4日)
令和4年度津軽地区小学生ソフトバレーボール大会(25日)
第15回東北中学校バドミントン選手権大会(26日～28日)

令和5年

- 1月 鷹揚旗全国選抜剣道大会(7日～9日)
令和4年度青森県(弘前市)地方青少年柔道錬成大会(8日～9日)
第43回青森県学生書初め席書大会(10日)
第54回東北高等学校インドアソフトテニス大会兼第48回全日本高等学校ソフトテニス大会東北地区予選会
令和4年度青森県(弘前市)地方青少年剣道錬成大会(28日～29日)(13日～15日)
第50回津軽地区室内陸上競技大会(29日)
- 2月 令和4年度新春青森県ソフトバレーボール大会(5日)
第37回全国選抜高等学校相撲弘前大会(11日)
第41回津軽地区少年柔道錬成大会(18日)
- 3月 NTT東日本キッズカップ第14回小学校クラブ対抗バドミントン大会(5日)
第14回春藤新体操クラブ発表会(12日)
第12回斎藤仁旗争奪少年柔道大会(19日)
第22回東日本高等学校弓道大会(24日～26日)

※予告なく変更となる場合があります

令和5年度青森県武道館貸切使用計画書受付について

令和5年度の各種大会・イベント等で使用する場合の事前申し込みについて

【受付期間】令和4年12月1日(木)～令和5年1月6日(金)必着

【対象】各種大会・イベント・催し物・行事等(サークルなどの利用は対象外)

【申込方法】所定の申込用紙に必要事項を記入して提出

《持参・郵送》申請書類と調整結果返信用封筒(A4サイズ角2封筒)を準備して提出
(申請用紙が1枚の場合は120円切手を、2枚以上の場合は140円切手を貼付)

《メール》申込専用アドレス(申込書に記載)へ必要書類を添付して送信

【日程調整】希望日程が他団体と重複した場合は利用調整を行います。

利用の可否は2月上旬にお知らせします。

「青森県武道館のイベント・大会情報が盛り沢山！」

利用状況の確認はもちろん、施設貸切使用申請など、PCインターネットからでもお申し込みできます。

P C ア ド レ ス <http://www.aomorikendoukan.com/>ス マ ホ ア ド レ ス <http://www.aomorikendoukan.com/sphone/>フ ィ ー チ ャ ー フ ォ ン ア ド レ ス <http://www.aomorikendoukan.com/mobile/>

〒036-8101 青森県弘前市豊田二丁目3番「青森県武道館」

TEL 0172-26-2200 FAX 0172-26-2206



青森県武道館報



青森県武道館でも徐々に大会が開催され、東北大会や全国大会も開催されるまでになりました。7月8日～10日に東北総合体育大会新体操・トランポリン競技、23日～24日に弓道競技、8月26日～28日には空手競技が開催され、栃木県で行われる国体の出場権をかけて熱戦が繰り広げられました。8月10日～11日には第43回東北中学校相撲大会、19日～22日には第52回全国中学校バドミントン大会が開催されました。残念ながら、いずれの大会も新型コロナウイルス感染拡大防止のため声援の制限や、無観客または限られた関係者のみの観覧で開催されましたが、早く以前のように開催できることを願っています。



東北総体トランポリン競技



東北中学校相撲大会



全国中学校バドミントン大会

青森県武道館ダンスワークショップ
SPECIAL DANCE

9月11日(日)、青森県武道館ダンスワークショップ「SPECIAL DANCE」を開催しました。昨年は開催直前で無念の中止となってしまいましたが、今年も大勢の申し込みがあり、コロナ対策のため間隔をとれる主競技場へ場所を移し、矢野祐子先生・MEDUSA先生の指導の下、午前と午後の二部構成で開催しました。



最初はそわそわしていた子供たちも、開始30分もすると積極的に体を動かし、最終的には参加者全員でユニゾンしていたのは壮観でした。講師の矢野祐子先生・MEDUSA先生、お忙しい中、本当にありがとうございました。そして、参加者の皆様お疲れ様でした。

青森県公立武道館協議会

「令和4年度青森県（弘前市）地方青少年なぎなた錬成大会」

7月9日（土）～10日（日）、令和4年度青森県（弘前市）地方青少年なぎなた錬成大会を、芦川寿美先生(教士)・今浦千信先生(教士)のお二人をお招きして開催しました。芦川先生は3年ぶり2回目の来青となりました。今浦先生からは「どんどん稽古して、できるようになったことを表現してください」という言葉と、芦川先生からは「わからないことは一つ一つ克服していきましょう」と、お言葉をいただきました。



「令和4年度青森県（弘前市）地域社会空手道指導者研修会」

9月3日（土）～9月4日（日）、令和4年度青森県（弘前市）地域社会空手道指導者研修会を開催しました。中央講師に渡辺純一先生(教士七段)・三鶯直子先生(教士七段)をお迎えし、県内指導者の技術向上と、審判の実技レベルの向上を中心に研修が行われました。参加者からは「楽しかった」という声が非常に多く、レベルに合わせて指導していただいた先生方の細やかな気遣いに感謝していました。



「令和4年度青森県(弘前市)地域社会弓道指導者研修会」

9月17日(土)～18日(日)、令和4年度青森県(弘前市)地域社会弓道指導者研修会を開催しました。今年は中央講師に荒川博行先生(教士八段)・工藤誠一先生(教士七段)をお迎えしました。荒川先生は3年ぶりに青森県での指導となり、講評で「今の気持ちは時間がたつと薄れていきます。気持ちを切らさないで稽古してください。」と仰り、工藤先生は「今回の講習会の中で、一つでも血となり肉とすることが出来るように稽古してください。」と仰っていました。



「第1回青森県フルオープンボッチャ大会」

10月1日（土）、第1回青森県フルオープンボッチャ大会が開催されました。ボッチャとはイタリア語で「ボール」という意味の単語から来ています。赤と青の革製のボールを使用し、ジャックボールと呼ばれる白い目標球の近くに自分の球をどれだけ集めることが出来るかを競う競技で、「床上のカーリング」とも呼ばれています。東京パラリンピックでも正式競技として開催され、日本選手が金メダルを獲得するなど一躍有名になった競技なので記憶に残っている人も多いのではないのでしょうか。また、2026年に開催される青森国スポとともに行われる「全国障害者スポーツ大会」では、青森県武道館でボッチャ競技が行われる予定となっています。

今回の大会は、障害の有無を問わないで行われましたが、ジャックボールを巡る息が詰まるような駆け引きと、ピリピリとした緊張感によって白熱した試合が多いと感じました。



「第30回全国高等学校ロボット競技大会」

10月15日（土）～16日（日）、第30回全国高等学校ロボット競技大会が開催されました。階段状のセットにリングの木に見立てたパイプを設置し、その上にリングに見立てたボールを置き、それぞれを「リング出荷台」と呼ばれる地点まで運ぶ「収穫機」と、別エリアにあるパイプとボールを組み合わせ「ジュース出荷台」へ設置する「ジュース」の2台のロボットを操作し、収穫機・ジュースそれぞれの点数と残り時間の合計点で競います。青森県からはむつ工業高校と弘前工業高校から2チーム、青森工業高校から1チームの計5チームが全国から予選を勝ち抜いた90チームと頂点を目指して競い合いました。残念ながら青森県勢は全チーム予選で力尽きてしまいましたが、全国大会というステージで競技をしたという経験値は、これからの糧となり財産の一つになるのではないのでしょうか。



「インターンシップ実習」

8月29日（月）～31日（水）にかけて、弘前実業高校からインターンシップ（就業体験）実習で3人の生徒が窓口業務や施設の準備などを体験していきました。最初は表情が硬かった生徒たちも、すぐに笑顔で接客業務をこなせるようになっていきました。今回の経験が皆さんの将来に役に立つことを願います。皆さん、ありがとうございました。

